

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(7月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎
矢祭町「子ども読書の街」づくり推進委員会委員長



『なつのあさ』

谷内こうた・文/画 /至光社



絵本は最初に触れる芸術です。

“なつのあさ”を読むと、ことばが少ないだけに絵に集中します。

なつの白いあさから始まり、少しずつ時間とともに風景が変化しながら夜になります。

少年は、汽車をみながら想像することが楽しそうです。

内容のご紹介



だれの心にも時おりふとよぎる少年の日のひとこま。夏の朝のさわやかな匂い、白い風景、弾む自転車、汽車の音—絵本ならではの喜びがあふれてくる。

今回ご紹介の絵本『なつのあさ』。1970年に出版、翌年1971年ボローニャ国際児童図書展グラフィック賞を受賞した世代を超えたロングセラーの絵本です。

(矢祭もったいない図書館)